

平成25年第3四半期業績説明資料

Corporate Performance Report

第50期第3四半期（平成25年4月～平成25年12月）の業績の概況 …… 1 ～ 5

平成26年2月

株 式 会 社 ナ ガ ワ



第50期第3四半期（連結）の業績概況

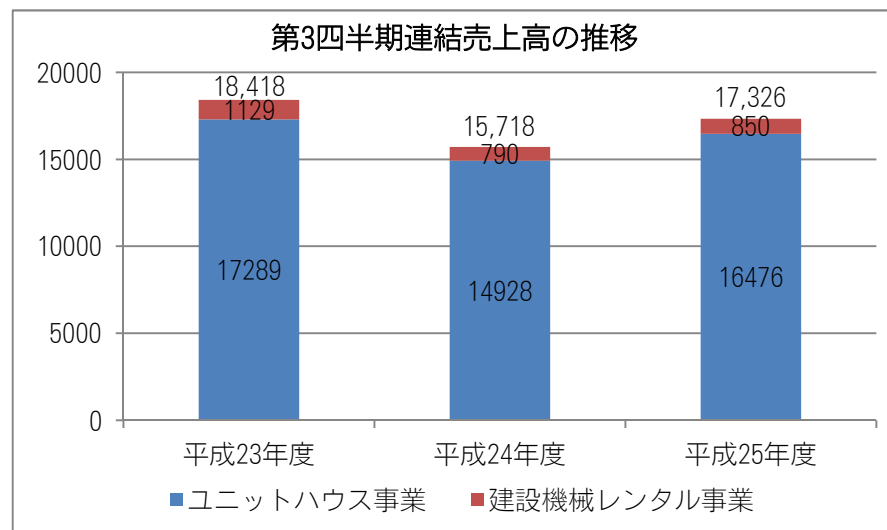
1. 建設市場全般

建設市場は民間設備投資の回復や復興予算・補正予算の執行により拡大傾向を継続している。

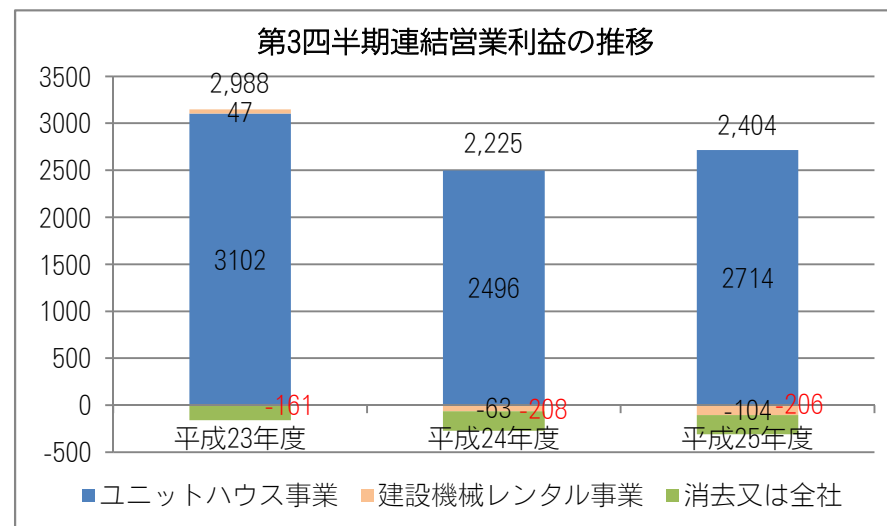
住宅着工数→11月まで15カ月連続で前年同月を上回って推移
 民間建築（非住居用）→11月に8カ月振りに前年同月を割り込む
 公共工事（大手50社）→11月まで8ヶ月連続で前年同月を上回って推移
 （国土交通省HPより）

2. ユニットハウス市場および建設機械レンタル事業

ユニットハウス市場は建設市場の回復を受けて販売・レンタルとも好調に推移している。
 北海道の建設機械レンタル市場は、補正予算の執行やリゾート開発の活発化により、回復の兆しが出てきている。



単位：百万円



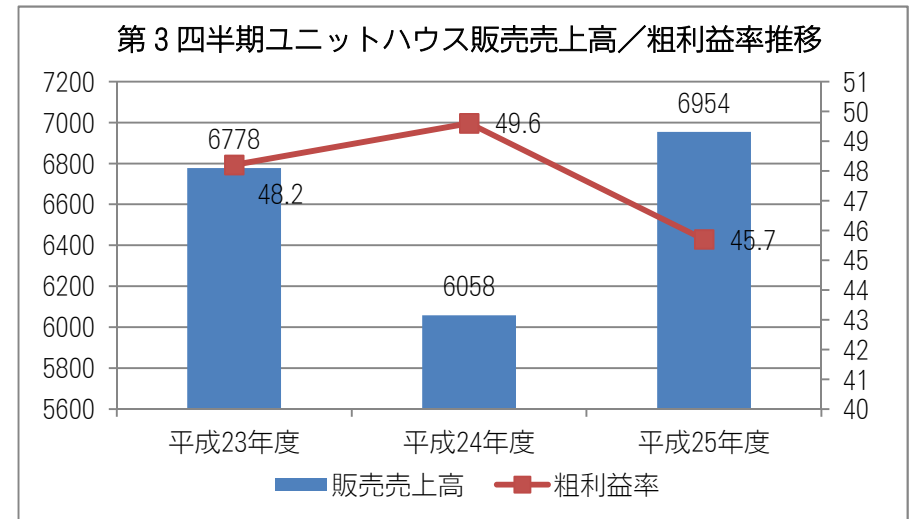
単位：百万円

第50期第3四半期（連結）の業績概況

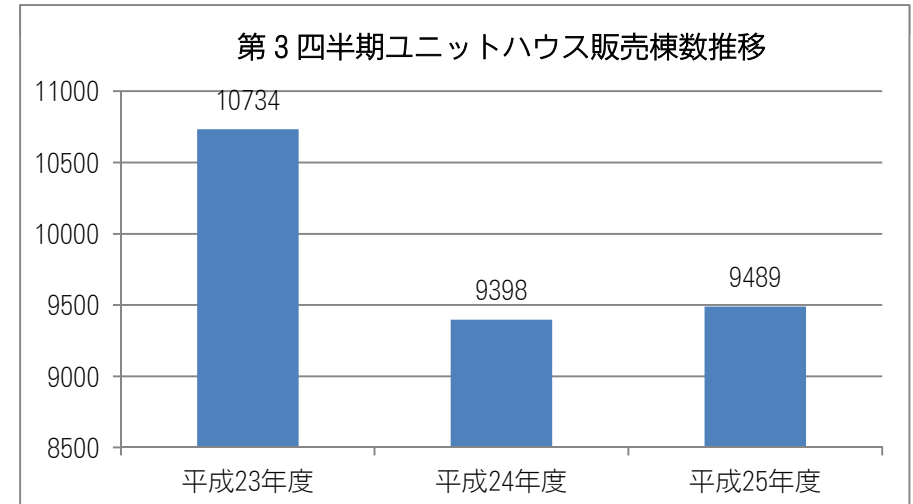
3. ユニットハウス事業

① 販売

新棟販売は、モジュール建築物件・システム建築物件が大きく伸長一方で利益率の高い中古販売が、レンタル好調の裏返しで物件確保が難しくなり、前年を下回った。



単位：百万円／%



単位：百万円

第50期第3四半期（連結）の業績概況

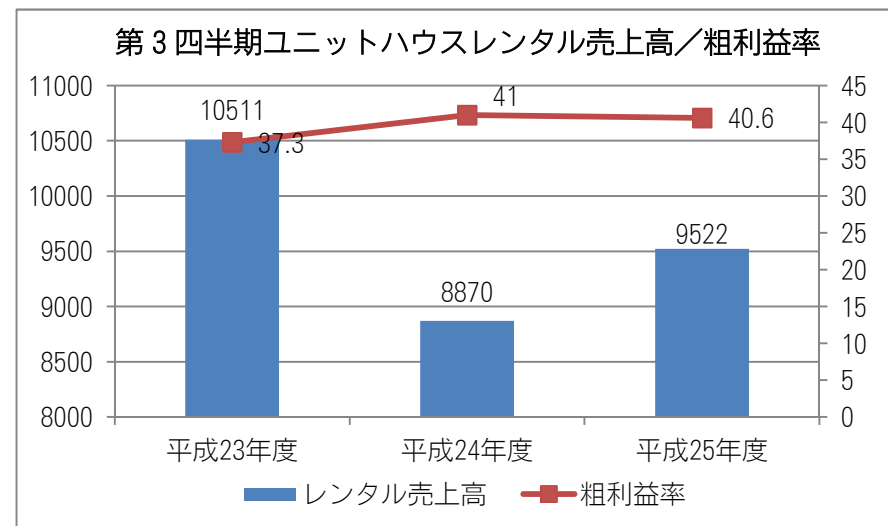
3. ユニットハウス事業

② レンタル

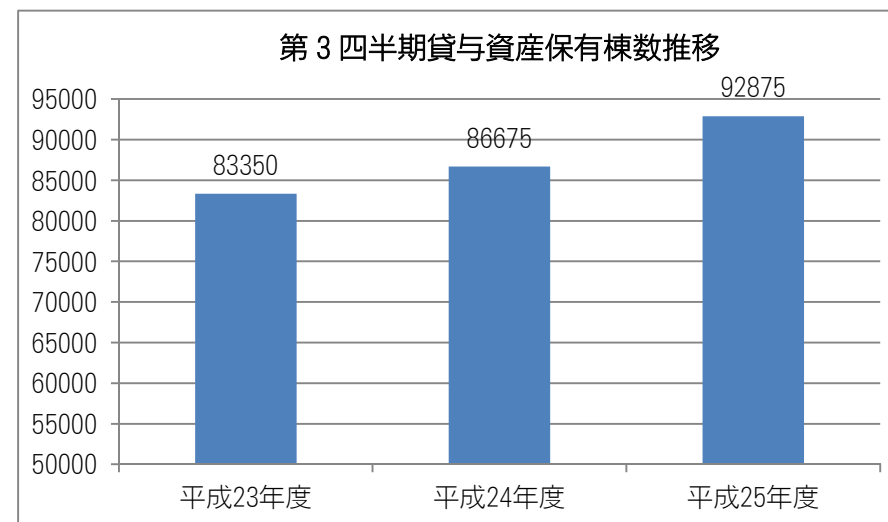
建設投資は、民間設備投資が緩やかに回復するなか、復興予算・補正予算の執行効果も加わり、概ね順調に推移した。

一方で、ユニットハウス業界は、上位業者にしか増産供給能力がないため、建設投資の伸び率以上の稼働棟数の伸び率となった。

単価についても、緩やかではあるが回復基調を継続した。



単位：百万円／%



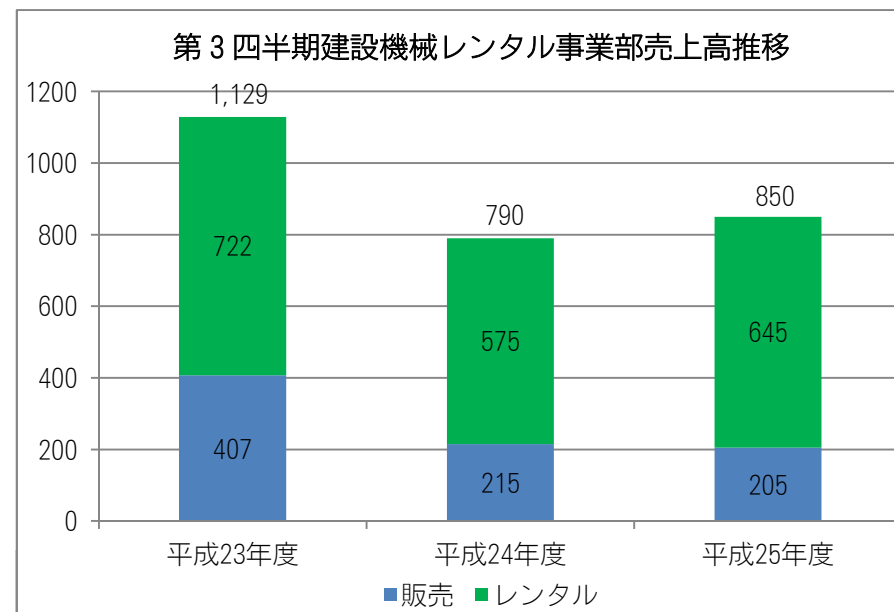
単位：棟

第50期第3四半期（連結）の業績概況

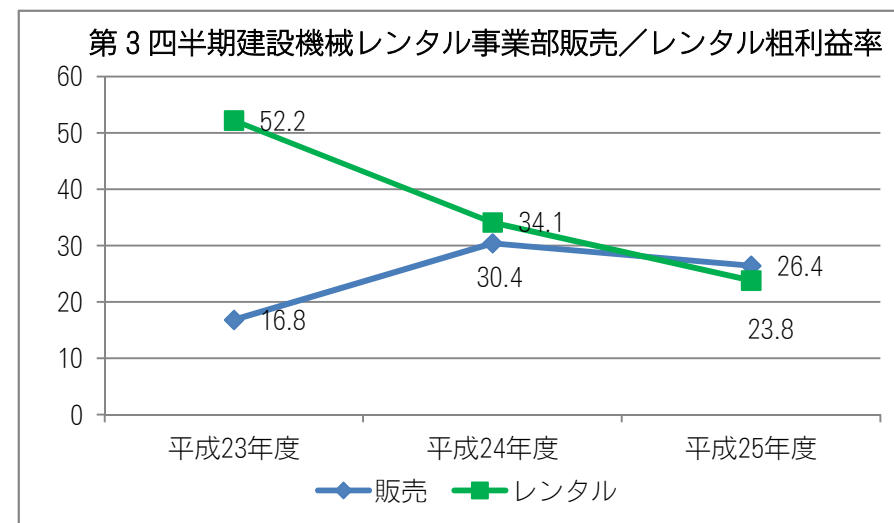
4. 建設機械レンタル事業

大半を公共工事で占める北海道南部の建設市場は、補正予算の執行が本格化したことや一部地域でのリゾート開発の再開が加わり、概ね拡大傾向が継続した。

この結果、一昨年から進めている貸与機械の更新投資平準化のための設備投資負担は重いものの、レンタル稼働が回復に転じたほか、経費削減効果も加わり、第3Q（3カ月）は黒字に転換した。



単位：百万円



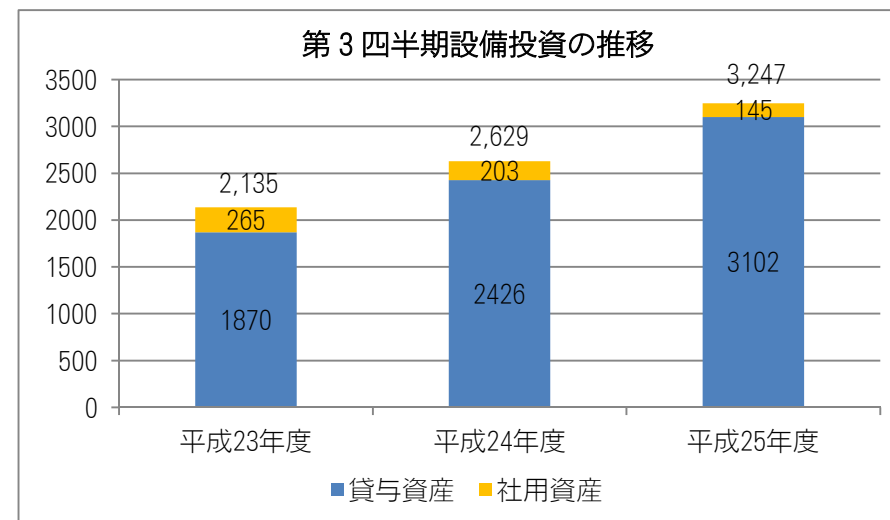
単位：%

第50期第3四半期（連結）の業績概況

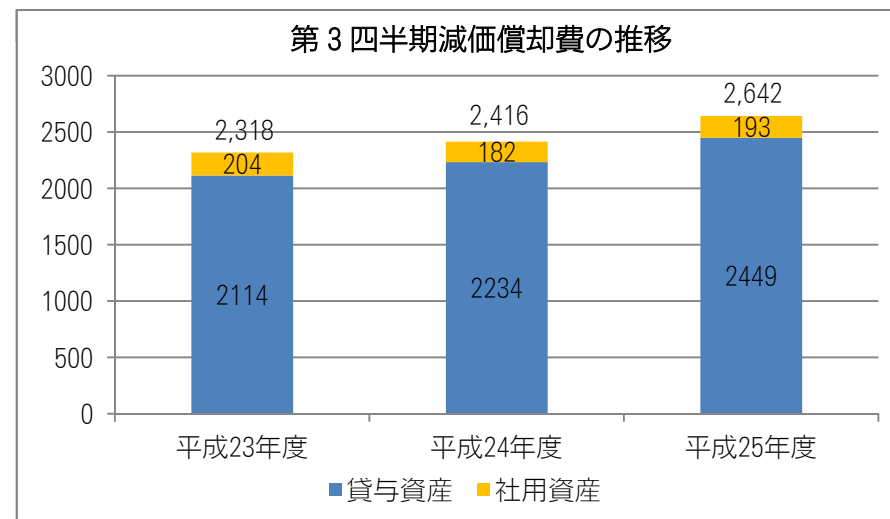
5. 設備投資

貸与ハウスは、好調なレンタル稼動に対応し昨年以上に投資を拡大した。

貸与機械は、更新投資平準化のため、昨年度に続き上期に一部前倒し購入を行った。



単位：百万円



単位：百万円